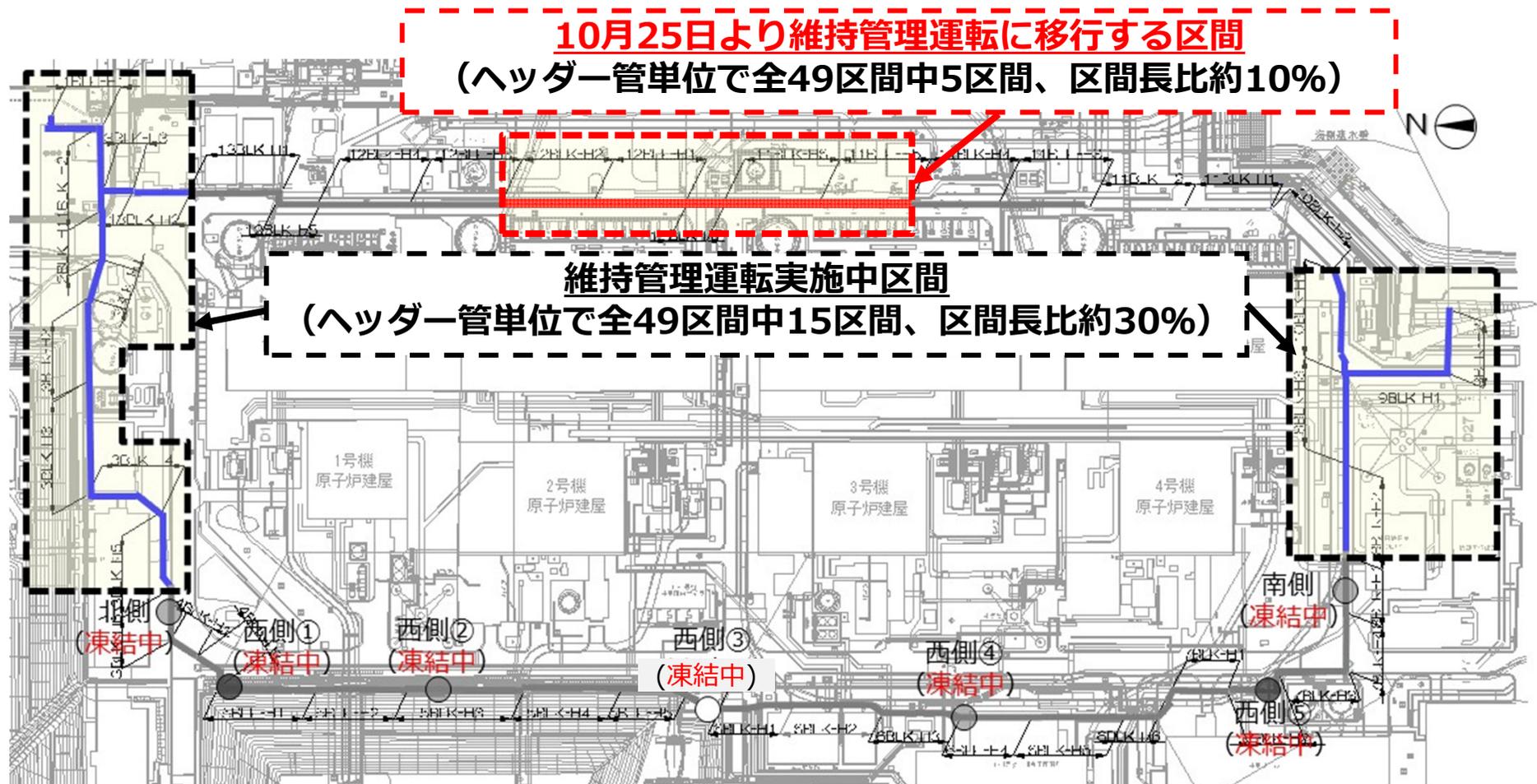


陸側遮水壁 維持管理運転範囲の拡大について

< 参考資料 >
2017年10月23日
東京電力ホールディングス株式会社

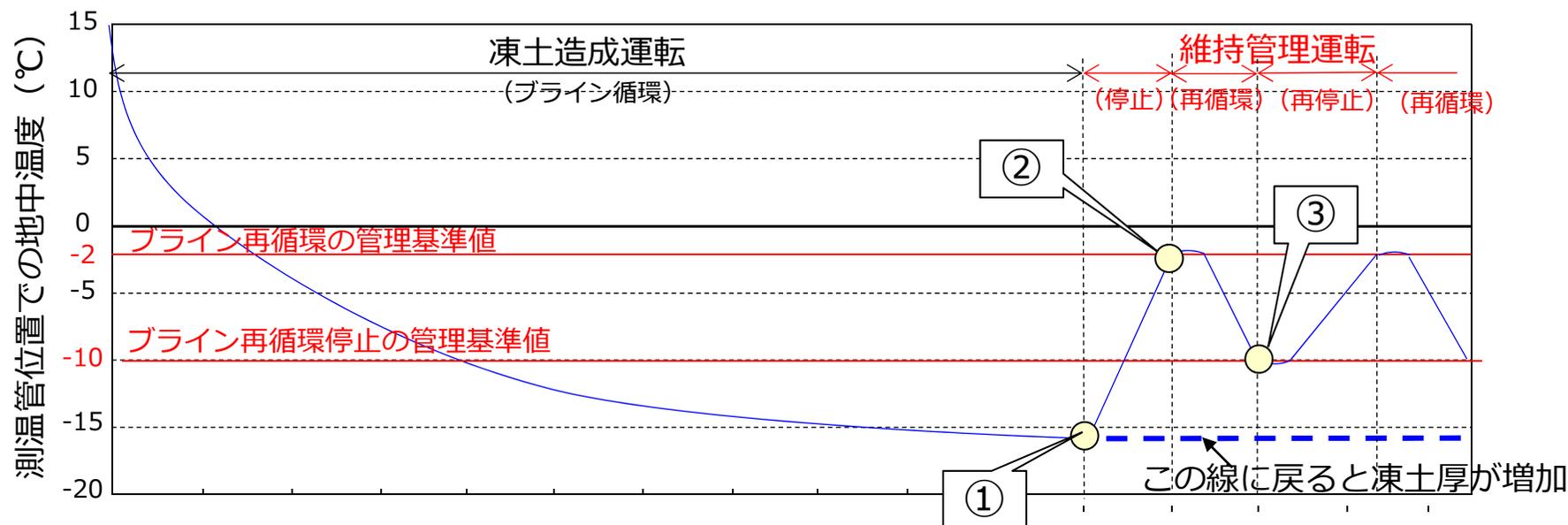
- 凍土がしっかりと造成されている北側・南側において、十分な遮水性が確認されていることから、5月22日よりブラインの停止と再循環を繰り返す維持管理運転へ移行し、凍土壁の成長を抑制している。
- 海側の一部区間（2、3号機タービン建屋周辺）において移行の準備が整ったことから、10月25日より維持管理運転を開始する予定。



【参考】 維持管理運転の方法について

■ 維持管理運転時の地中温度イメージ

- 維持管理運転に移行後 (①), ブライン再循環の管理基準値 (②) とブライン再循環停止の管理基準値 (③) を設定し, 地中温度をこの範囲で管理する。



<維持管理運転の制御ポイント>

- ① : 維持管理運転へ移行
- ② : ブライン再循環 ……測温点のうちいずれか1点で地中温度-2°C以上*
- ③ : ブライン循環再停止……全測温点-5°C以下*, かつ全測温点平均で地中温度-10°C*以下

* ブライン停止および再循環の管理基準値は, データを蓄積して見直しを行っていく。
* 急激な温度上昇や局所的な温度上昇が確認された場合には, 個別に評価を行い維持管理運転の運用方法を再検討する。